

# (第7期) 第1回さいたま市公民館運営審議会 議事録

## 1 開催日時

平成25年11月19日(火) 午前10時00分から11時40分まで

## 2 開催場所

生涯学習総合センター 10階多目的ホール

## 3 出席者名

〈委員：11名〉

- ① 安藤 聡彦 委員長
- ② 生越 康治 副委員長
- ③ 青木 光美 委員
- ④ 有賀 覚 委員
- ⑤ 歌川 光一 委員
- ⑥ 柿塚 一二三 委員
- ⑦ 黒岩 清 委員
- ⑧ 清水 千代 委員
- ⑨ 鈴木 京子 委員
- ⑩ 谷崎 美智子 委員
- ⑪ 長岡 綾子 委員

〈拠点公民館職員：7名〉

- |                |        |
|----------------|--------|
| ① 西区 指扇公民館     | 小池 安雄  |
| ② 北区 大砂土公民館長   | 塚田 和正  |
| ③ 見沼区 大砂土東公民館  | 鶴見 道子  |
| ④ 桜区 田島公民館長    | 戸張 豊一  |
| ⑤ 浦和区 岸町公民館    | 横田 隆夫  |
| ⑥ 緑区 大古里公民館長   | 三上 富士夫 |
| ⑦ 岩槻区 岩槻本丸公民館長 | 斉藤 典男  |

〈事務局：6名〉

生涯学習総合センター

- ① 館長 石塚 晃
- ② 副館長 細見 俊孝
- ③ 主幹 小川 栄一
- ④ 主幹兼事業企画係長 森田 隆之
- ⑤ 事業企画係主査 斉藤 明彦

⑥ 社会教育指導員 橋本佐度子

4 委嘱状交付

- ・委嘱状交付、委員の紹介、委員長・副委員長の選出を経て議事に入った。

5 議 題

- (1) 公民館運営審議会について
- (2) 公民館の概要について
- (3) 今後の会議日程について

6 配布資料

- (1) 会議次第
- (2) 第7期第1回さいたま市公民館運営審議会出席者名簿
- (3) 第7期第1回さいたま市公民館運営審議会席次表
- (4) さいたま市公民館運営審議会 第7期委員名簿 (資料1)
- (5) さいたま市公民館運営審議会の概要 (資料2)
- (6) 平成26年度生涯学習総合センター・拠点公民館・地区公民館基本方針 (資料3)
- (7) さいたま市公民館運営審議会から他の会議等に推薦している委員一覧 (資料4)
- (8) さいたま市公民館要覧
- (9) さいたま市生涯学習推進計画概要版
- (10) さいたま市公民館利用案内

7 公開・非公開の別

公開

8 傍聴者の数

なし

9 会議

- ・会議は委員の半数以上が出席しているので、成立。

10 審議内容

- (1) 議題1 公民館運営審議会について、事務局より、資料1・2に基づき説明した。

安藤委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等があれば、お願いします。
委員	なし。

- (2) 議題2 公民館の概要について、事務局より、さいたま市公民館要覧及び資料3に基づき説明した。

安藤委員長	ただ今の説明について、ご意見、ご質問等があれば、お願いします。
-------	---------------------------------

委員	なし。
----	-----

(3) 議題3 今後の会議日程について、事務局より説明し、委員それぞれから出席できない曜日、時間帯などを聞きとり、会議の日程を協議。

※ 次回以降は、奇数月の第4火曜日10時から開催、ただし、1月は会場の都合上、13時30分から開催することを決定した。

(4) その他

① 日頃、公民館について考えていることや感じていることについて、各委員より発言してもらった。

安藤委員長	本日は、第1回目の公民館運営審議会でございますので、日頃、委員の皆様が公民館についてお考えのことや感じていらっしゃるものがございましたらお伺いしたいと思います。青木委員から順番にお願いします。
青木委員	私は第6期から審議会に参加しています。その中で公民館はどう進んでいくのか、地域とは何かという壁にぶつかっています。行政都市としてのさいたま市と、私たちの生活レベルで考えている地域とのギャップを感じています。公民館は、さいたま市全市民を対象としていて、だれからでも申込みできますが、その地域のためにもあって欲しいというジレンマを感じた2年間でした。地域住民の望むべき公民館と、市の社会教育の担い手としての公民館はどうあるべきかを考えていきたいと思っています。
有賀委員	私は、公民館を50回以上利用しています。私ごとでございますが「菊の会」というもので約3週間、植竹公民館で菊の展示もしておりました。盆栽町の自治会の総会や敬老会等でも利用していますが、その中で日頃感じていることは、公民館での最終目的を明確にしなければならないということです。それは、人間をつくることと感じています。
歌川委員	公民館を考えると、硬い面とやわらかい面があると思います。硬い面で考えてみると、さいたま市が政令指定都市になったところ、公民館はどうなっているのかがよく話題に出ていました。長野県は、行政職員をつくっていく場所として公民館を使っています。やわらかい面では、公民館ではやはり文化活動をしている方が多く、それは社会教育実践の担い手でもあり、今後文化行政との連携というような発想で何か提案できたらいいと思います。
柿塚委員	私は地域の公民館内で「子ども文庫」という活動をして27年になります。その中で育った子どもが成長して大人になって訪ねてきて、そこに交流があります。それを見て、公民館は「子どものふるさと」と強く感じます。「市民」とか「地域住民」とかの分け方をするの

	<p>は、適当ではないと思います。公民館は、人情味のある、心あたたまる場所を作っていければよいのではないかと思います。</p>
黒岩委員	<p>私は地域の公民館審議会を経て、協議会、そして今は連絡会の会長をしています。その立場で考えることは、昔は、大宮の場合、地域公民館では、地域の人皆が知っている人が館長でした。ところがさいたま市になってからは、どちらの方かわからない方が館長になるようになってしまいました。これは館長にとっても、地域住民にとっても公民館を使いづらくしているように思えます。今のパソコンを使っの予約申込み方法等、いろいろ考えていきたい問題があります。</p>
清水委員	<p>私は、「えらベル」という生涯学習情報を市民に提供するボランティア活動をしています。毎月2回、生涯学習総合センターで、市内で開催される講座、講演、セミナーやサークルの紹介、生涯学習に関するさまざまな相談をしているのですが、来て下さる方がとても少ない現状です。「えらベル」の活動をぜひ市民の皆さんに知っていただきたいと思います。</p>
鈴木委員	<p>私は、現在にいたるまで40年間近く、ほぼ毎日のように公民館を使わせていただいています。公民館のロビーで地元の方の楽しそうな会話の聞こえる明るい雰囲気公民館と、入りづらい暗い雰囲気公民館があるのを感じます。今、私は公民館で年齢層の高い方々を指導しているのですが、稽古よりも交流を楽しんでいらっしゃるようで、皆さんの様子を見ると、公民館は、ありがたい地域の場だと感じます。</p>
谷崎委員	<p>公民館の利用者の立場で発言させていただきます。</p> <p>駅に近い公民館へは遠くからも利用に来ますが、逆に駅から遠いところは空いていることが多いです。</p> <p>利用者として要望を窓口の方に出しているのですが、公民館の設備が新しいところと古いところがあります。古いところは何年も変わりません。予算が厳しいのかとも思うのですが、利用者の意見はどのように反映されるのか知りたいと思います。</p>
長岡委員	<p>私も第6期の審議会を務めさせていただき、色々と考えさせられました。今はインターネットでさいたま市59館の情報をすぐに得られ、学びたいことを時間の許す限り、いつでも学べるようになり、時代の変化を実感します。公民館は、皆さんが気軽に行けるというのが、時代を超えた公民館の永遠のテーマだと思います。この秋、公民館の文化祭に行く機会がありました。そこでのいきいきとした発表、あたたかいつながり、それぞれの地域の特色など、改めて公民館の素晴らしさを感じました。</p>
生越委員	<p>資料の説明で、さいたま市の公民館の登録団体数が2万を超えていて、かなり多いことに驚きました。どのようなことをしているのか、どのような構成なのか内容まではよく分かりませんが、男性の育児や</p>

	料理など、最近耳にします。今まで使わなかった層が利用し始めているのかと変化を感じます。
安藤委員長	<p>ありがとうございます。皆さんには、突然の指名にもかかわらず、幅広く多角的かつ積極的に意見を出していただきました。今後の公民館運営審議会での参考にさせていただきますし、皆さんで検討してまいりたいと思います。</p> <p>今後どのような形で公民館運営審議会を進めていくかの予定については、次回に提案させていただきます。</p>

- ② 公民館運営審議会から他の会議等に推薦する委員について説明し、承認を得た。
- ③ 次回は、1月28日（火）13時30分から生涯学習総合センター7階講座室において開催することを確認した。

## 1 1 閉 会